

# 平成21年度決算を認定 決算特別委員会へ

今期市議会定例会では、笠間市の平成21年度決算を審査するため、決算特別委員会を設置しました。

委員会は8人の委員で構成し、9月9日、10日、13日の3日間、執行部より部長や担当者の出席を求め、認定第1号から第6号までの平成21年度決算認定について審査を行いました。

審査は、課ごとに説明を受け、質疑を行いました。ここでは、審査過程での質疑、意見等の主な内容を部ごとに紹介します。

## 主な質疑・意見等について

### ■一般会計

市長公室 賀詞交換会の経費、企業誘致の成果、ふるさと融資の状況についてなど。

総務部 同時選挙での国・県の費用負担割合、市民総合賠償保険の活用状況、災害時の備蓄食料、市債の利率と償還方法、軽自動車税の滞納についてなど。

市民生活部 塵芥処理費の不用額、外国人登録の状況、住基ネット利用者の状況についてなど。

福祉部 生活保護世帯の状況、保育料未納世帯の状況、シルバー人材センターの稼働状況についてなど。  
保健衛生部 新型インフルエンザ対策、女性特有のがん検診事業についてなど。  
産業経済部 強い農業づくり交付金

事業による農業機械購入、遊休農地活用緊急対策事業の内容、土地改良事業の進捗状況、森林機能緊急回復事業の間伐推進事務費の内容についてなど。

都市建設部 福原市宮住宅の駐車場収入、河川愛護奨励金を財源とする河川報償費の内容についてなど。

教育委員会 心の教室相談員の配置状況、給食費の統一と滞納対策、友部図書館の借地料についてなど。  
消防本部 消火栓・防火水槽設置についてなど。

### ■特別会計

後期高齢者医療特別会計 特別徴収保険料についてなど。  
介護保険特別会計 保険料の不納欠損についてなど。  
公共下水道事業特別会計 使用料の収入未済額、徴収嘱託員の徴収実績と報酬の根拠、企業債の利率と償還方法、下水道接続率と接続推進についてなど。

水道事業会計 有収率、未収金の対応、ペイオフ対策、鉛管改修の進捗状況についてなど。  
市立病院事業会計 未収金の状況、過年度分損益勘定留保資金についてなど。

その他 提出資料である主要施策の成果報告書記載内容の統一についての意見

がありました。  
委員会での採決について  
3日間にわたり執行部との間で活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い審査を終了しました。

審査の結果、笠間市のすべての平成21年度決算について全会一致により認定しました。

## 本会議での報告・採決について

定例会最終日の9月17日、海老澤勝委員長が、決算特別委員会の審査結果を本会議で報告し、本会議での採決が行われ、委員会の報告のとおり認定されました。

## 平成21年度決算状況(普通会計)(単位:千円)

項目	平成21年度	平成20年度
歳入総額	28,551,750	26,894,801
歳出総額	27,694,993	26,327,384
歳入歳出差引	856,757	567,417
翌年度へ繰り越すべき財源	193,341	185,315
実質収支	663,416	382,102
単年度収支	281,314	▲65,574
積立金	23,881	87,677
繰上償還金	83,865	25,958
積立金取崩額		
実質単年度収支	389,060	48,061
実質赤字比率(%)	—	—
連結実質赤字比率(%)	—	—
実質公債費比率(%)	13.2	13.7
将来負担比率(%)	105.7	121.8
財調	2,220,267	2,196,386
減債	1,381,690	1,381,115
特定目的	2,562,032	2,625,422
地方債現在高	26,128,387	25,284,362

注) 財政健全化判断比率  
財政の悪化状況を「早期健全化」と「財政再生」の2段階の基準でチェックします。笠間市はすべての比率で基準を下回っています。

【各指標の基準比率】 (単位: %)

	早期健全化	財政再生
実質赤字比率	12.61	20.00
連結実質赤字比率	17.61	40.00
実質公債費比率	25.0	35.0
将来負担比率	350.0	



活発な議論が交わされた決算特別委員会